

# こころもからだも茜色に染めて

【たがわ発見モデルコース④】



所要時間 / 約6時間

## 棚田を彩る彼岸花、雪舟庭園の紅葉。田川の自然を再発見。

川崎町南部に広がる戸谷ヶ岳の山々。その山肌からしみ出た水は川となり山里をうるおして、秋、豊かな作物をもたらしてくれるばかりか、美しい景観を人々のところに運んでくれます。

稲穂が緑のテラスをつくっていくつも重なる安宅の棚田。9月も下旬になると彼岸花が群生し、成長して黄緑を帯びた穂と鮮やかな色のコントラストを見せます。

安宅からひとつ山を隔てた安真木地区。はるか室町時代、応仁の乱を避けてやって来た雪舟がここに庭園を築いています。藤江氏魚楽園。国指定名勝でもある名園ですが、11月の紅葉がそれは見事。まさに庭が燃え

**1 JR 豊前川崎駅**

ココからスタート

**2 安宅の彼岸花**

安宅地区に広がる棚田。春から夏は鮮やかな緑に覆われていますが、9月下旬になるとあぜ道に彼岸花が群生し、見事な紅のアクセントを添えます。

安宅の棚田

9月下旬が見頃。

**3 田代の森**

福岡県の森林浴100選に選ばれている森。安宅の不動橋から田代山頂まで3kmの林道が続きます。途中の展望所からは素晴らしい眺めが。

林道は標高差200m。

**5 雪舟ロード**

昭和63年に廃線になった旧国鉄上山田線跡が、川崎町農産物直売所「De・愛」から藤江氏魚楽園近くまで遊歩道・サイクリングロードとして整備されています。

**4 藤江氏魚楽園 (国指定名勝)**

水墨画の画家で庭園造りの名手でもあった室町時代の禅僧、雪舟が最初に築いたといわれる庭園。座敷から眺める絵画式庭園で、鶴や亀になぞらえて配された岩、池、植栽などの取り合わせが水墨画のように美しく、四季折々いろいろな表情を見せてくれます。秋の紅葉は必見。開園時間 / 8時30分～16時30分 年末年始休 大人300円、高校生以下100円 お問い合わせ / ☎0947-72-7777

11月中旬から下旬に紅葉。

**6 川崎町農産物直売所「De・愛」**

地元で収穫された果物や野菜がいっぱい。秋は梨や柿が並びます。水に恵まれた安真木地区の米はファン多数。梅も特産品になっています。営業時間 / 9時～17時 年末年始休 お問い合わせ / ☎0947-72-8249

玄米チップスなど、安心の手作り加工品も。

**7 ラピュタファーム**

自然を楽しみ、味わうことができる体験型農園。園内にあるバイキングレストランが大評判を呼んでいます。その秘密は自家菜園や地元産の食材を使った彩り豊かな手作り料理の数々。メニューは月替わりとあってリピーターが多いのも特徴です。レストラン営業時間 / 11時30分～14時30分 オーダーストップ 70歳以上1250円、中学生以上1480円、小学生980円、幼児550円(2歳から有料) お問い合わせ / ☎0947-47-4000



年間5万人の人が果物狩りも人気。

### 田川の魅力づくり、わたしたちもお手伝いしています!

「魚楽しければ、人また楽し」という詩経の一文から名付けられました。

魚楽園の管理をされている藤江千代美さん

大ケ原は滋味豊かな地。野菜や果物がほんとおいしいですよ。

ラピュタファーム 代表取締役 杉本利雄さん

中国の明に渡っていた雪舟さんは応仁の乱や博多での戦を避けて糸島に上陸し、大分の大友氏を訪ねる途中、このあたりの有力者であった私ども先祖を頼って来たそうです。雪舟さんの庭では秀作と評価していただいている、その分、手入れに神経を使いますが、ここは湧き水が池に注ぐ音しか聞こえない別世界。しばし、手を止めて庭を眺めると、心が休まります。田川にはこんな埋もれた財産がたくさんあるので、ぜひ活用して歴史のまちとして再生してもらいたいですね。

### ご当地の美味・逸品

#### 「川崎町の果物狩り」

果樹栽培のさかんな川崎町では、ぶどう、なし、りんご、いちごなどの果物狩りが楽しめます。ぜひ体験してみてください。



お問合せ  
ラピュタファーム(ぶどう、なし、りんご、いちご)  
☎0947-47-4000  
井手上農園(ぶどう、なし)  
☎0947-73-3315

### 四季さいさい

**光蓮寺の菩提樹**  
安永年間(1770年代後半)、第8代住職が中国から経典を持ち帰った際、一緒に苗木も持ち帰って植えたという菩提樹。県の天然記念物。

**内木城の藤**  
高さ30mの大木に4月下旬～5月上旬、見事な藤棚がかかります。

**戸谷自然ふれあいの森**  
標高400mにあり、溪流遊びや遊歩道での自然散策、キャンプなどで夏を満喫できます。

### オブションルート

もっと自然に癒されたい方にはこちらのコースも。  
深倉峡は、英彦山の西南、障子ヶ岳の麓に位置し、英彦山への登山ルートの一つとしても多くの方が訪れます。英彦山の隠れ座敷とも言われ、紅葉の季節には色鮮やかな美しい景観を見せてくれます。見事な造形の奇岩や滔々と流れる清流、爽やかに流れ落ちる滝も素晴らしい。美しく染まる紅葉とあまって深倉峡ならではの景観をつくりだしています。特に峡谷を挟んで男魂岩と女岩にかかる大きな注連縄や、深倉橋から見下ろす紅葉や滝は絶景。紅葉の美しい毎年11月には「男魂祭」が開かれ、紅葉狩りや祭りを楽しむ多くの人で賑わいます。

